別記様式－2-2

**ＩＣＴ活用工事計画書（舗装工（修繕工））**

（工事名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　会社名：

当該工事の舗装工（修繕工）において、ＩＣＴ施工技術を活用する場合、「□①、②において活用する」のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 施工プロセスの段階 | | 適用技術・機種 |
| □①、②において  活用する | ①３次元起工測量 | | ・地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・その他の３次元計測技術を用いた起工測量  ※採用する具体な技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※発注者が３次元測量成果を提供する場合も活用に含む。 |
| ②３次元設計データの作成 | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成  ※発注者が３次元設計データを提供する場合も活用に含む。 |
| ③ＩＣＴ建設機械  による施工  （選択） | 【作業工種】  ・路面切削工 | ・３次元位置情報を用いた施工管理システムを搭載した建設機械 ・従来型建設機械  ※採用については受注後の協議により決定する。 |
| ④３次元出来形管理等の施工管理  　（選択） | | ・施工履歴データを用いた出来形管理  ・従来手法による施工管理  ※採用については受注後の協議により決定する。 |
| ⑤３次元データの納品 | | ※施工履歴データを用いた出来形管理を行った場合 |

注1)ICT活用工事及びICT活用施工の詳細については、特記仕様書によるものとする。

注2)「□①、②において活用する」のチェック欄に「■」と記載された場合のみ加点対象とする。

注3)「ICTの活用」において加点評価された場合、「技術提案」との重複評価はしない。ただし、本表掲載のICTを応用（別の技術を組み合わせて効果を高める、

又は別の効果を発現する等を含む。）した技術提案は、その応用部分（付加的な内容）については「技術提案」の評価対象とする。

注4)特記仕様書により指定した技術については、評価項目・技術提案ともに加点・評価はしない。

注5)施工管理システムを搭載した建設機械とは、施工中の路面切削機の作業装置位置及び切削深さ（高さ）をリアルタイムに計測・記載する機能を有する建設

機械をいう。